資料４－３

**令和６年度　新宿区資源集団回収実践団体アンケート集計結果**

町会・自治会等

１．実施時期　　令和６年７月
２．実施方法　　アンケート用紙を郵送し、返送を依頼した。
３．回答団体数　１３１団体（アンケート送付：１７６団体、回答率：７４．４％）
４．アンケート結果（記述式による回答については、主な意見を抜粋）

Q1　**集団回収への参加人数は、おおよそ何名くらいですか**

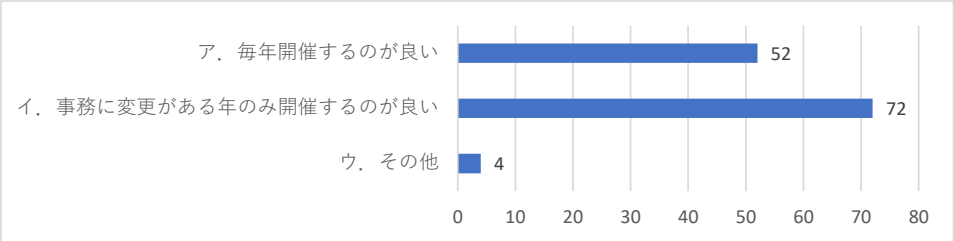
参加人数合計：14,239名
平均：113名、最大：1,000名、最小：2名

Q2　**集団回収の活動の中心となる役員等（担当、会計や連絡係など）は、何名くらいですか**

役員等合計：827名
平均：6名、最大：25名、最小：1名

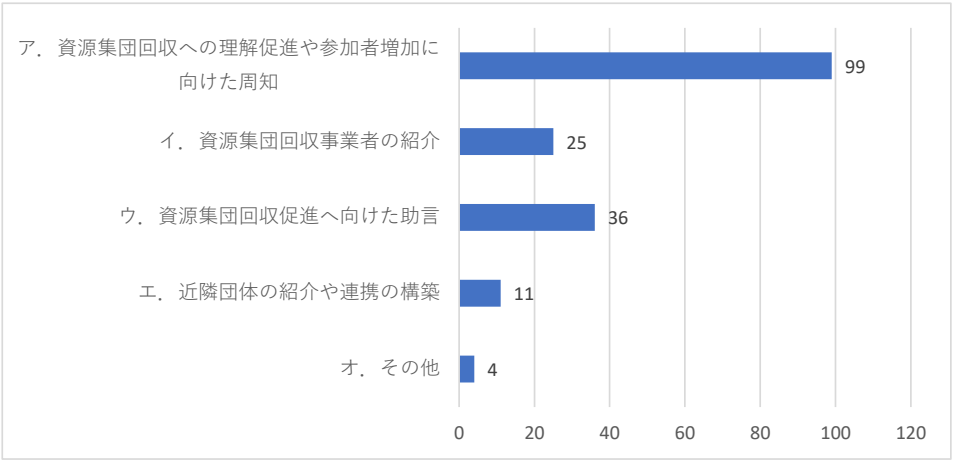
Q3　**実践団体代表者懇談会について**

実践団体代表者懇談会の開催について、「事務に変更がある年のみ開催するのが良い」が７２団体、「毎年開催するのが良い」が５２団体であった。



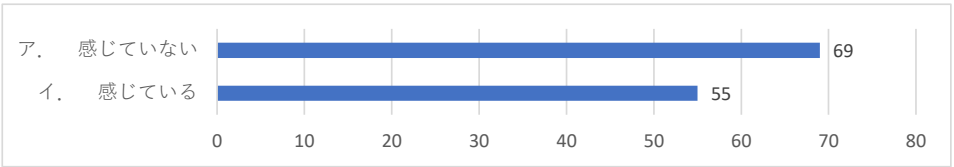

Q4　**今後も継続していくために、区がどのような取り組みを行うべき**（複数回答可）

「資源集団回収への理解促進や参加者増加に向けた周知」が最も多く約５７％、
次いで「資源集団回収促進へ向けた助言」が約２１％、「資源集団回収事業者の紹介」が約１４％であった。




Q5　**集団回収活動を担う人材の不足を感じていますか**

集団回収活動を担う人材の不足については、感じていないという回答が約５６％であったが、感じているという回答も約４４％であった。

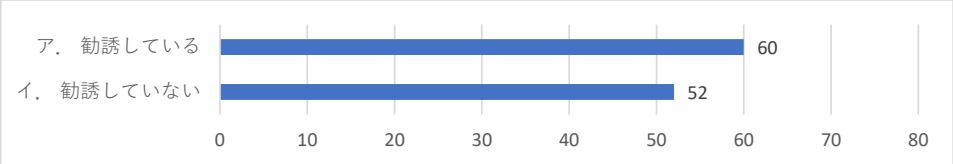


Q6　**人材不足を解消するために工夫していることがあれば、教えてください**

・集団回収を多くの人に知ってもらうこと、毎週周知に努めている
・町会の行事がある都度集団回収の話をする
・若い人を勧誘するが町会に属するメリットがわかってもらえない
・役員を順番で必ず指名、上半期・下半期で交代制にしている。
・活動が困難になってきた場合は近所に声をかけて交替してもらっている、
　助け合いながら継続、協力者を増やし後を継承してもらいたい

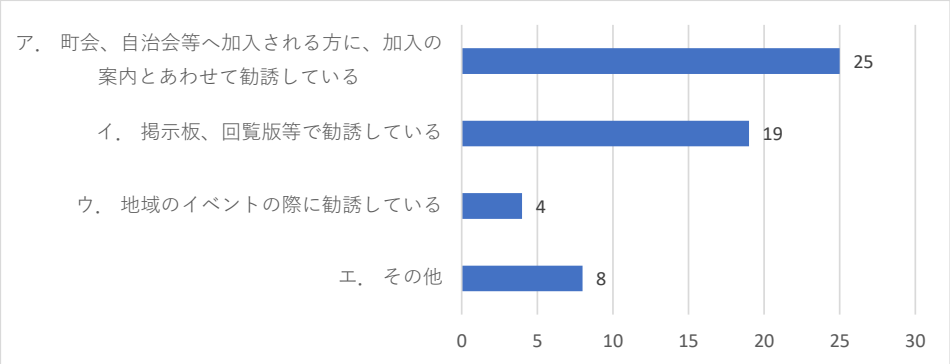
Q7　**新規参加者の勧誘をしていますか**

新規参加者の勧誘をしているという回答は、約５４％、勧誘していないという回答は、約４６％で、
勧誘をしている団体のほうが若干多かった。




Q8　**どのような方法で勧誘していますか**（複数回答可）

「町会、自治会等へ加入される方に、加入の案内とあわせて勧誘している」が約４５％、
「掲示板、回覧板等で勧誘している」が約３４％であった。




Q9　**①人材不足を解消するため、区からどのような支援があれば良いと思いますか**

・啓発ポスター、集団回収のチラシ配布、掲示物の配布、拠点の人に向けた啓発グッズを配布
・回収した資源がどのように役立っているか説明してほしい
・小・中学校で地元に貢献する必要性を説明し実践してほしい、学校などで資源の大切さを話してほしい
・連携は難しいので情報交換等

**②他団体（他の実践団体やPTA、清掃協力会等）と連携したいと思いますか**

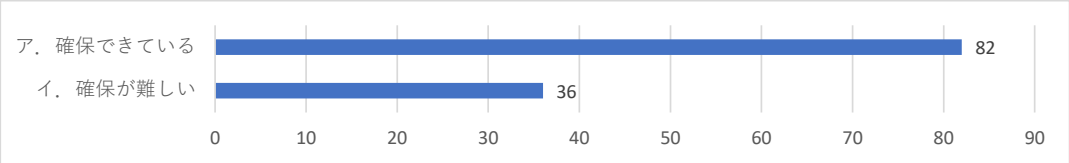
・連携は難しいので情報交換等
・あまり大きなグループになると統制がとるのが大変、現状で良いと思う

Q10　**区が集団回収について周知する際、どのように周知することを望みますか**

・広報新宿で定期的にコーナーを設けて区民に知らせる、広報などで団体の活動を掲載して欲しい
・「すてないで」集団回収の特集を組んでほしい
・回収場所に掲示板やポスター、見やすいポスター、パンフレットの作成

Q11 **資源の保管場所は確保できていますか**

資源の保管場所については、確保できている団体が約６９％であった。




Q12 **保管場所の確保のために、工夫していることがあれば、教えてください**

・役員が自宅で預かっている、町会では各自自宅
・整理整頓
・回収場所を増やしている

Q13 **①保管場所の不足を改善するには、区からどのような支援があれば良いと思いますか**

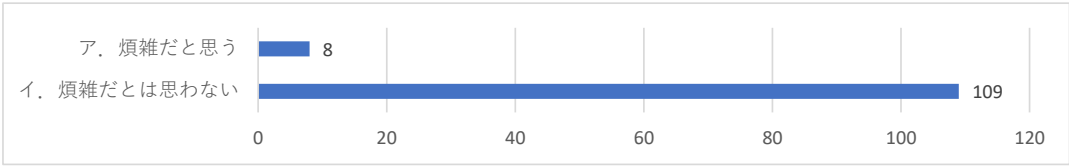
・場所の提供
・日曜日の回収

**②他団体（他の実践団体やPTA、清掃協力会等）と連携したいと思いますか**

・他の団体の工夫があれば聞きたい

Q14 **報奨金等の事務が煩雑だと思いますか**

報奨金等の事務については、煩雑だとは思わないという回答が約９３％であった。




Q15 **区から支給される報奨金の使途**

・町会行事、記念行事で使用などに活用
・保管場所を借りている
・保管庫・蓋付の入れ物

Q16 **その他のご意見やご要望**

・持ち去り業者に困っている。
・収集の回数増と回収場所増
・報奨金を上げてほしい
・毎週出せる資源の日があるのにも拘わらず集団回収を優先する理由、重要性を周知